

算数、数学

令和6年度 授業改善のポイント

- 1 話し合いの場面で、正しい考えのみを共有するのではなく、児童生徒が困っていることについても自力解決等の状況に応じて適切に取り上げ、他者の考えを解釈しながらねらいの達成に向かう学び合いを展開する。
- 2 算数、数学の系統性を踏まえ、本単元及び本時で育成を目指す資質・能力を明確にした上で、どのような学習状況であれば「おおむね満足できる」状況と評価できるかを具体的に想定し、本時のねらい、観点及び学習活動と整合した評価問題を作成する。

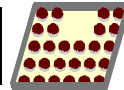
他者の考えを解釈しながらねらいの達成に向かう学び合い

【指導事例】「かけ算」（小学校第2学年）

【本時のねらい】 日常生活にあるものの数の求め方について、同じ数ずつのまとまりに着目し、乗法を用いた計算の仕方を考え、図や式を基に説明することができる。

同じ数ずつのまとまりに分ける考え方、全体から余計な分を引く考え方などを取り上げよう。このような考え方は、第4学年の面積の学習でも活用する考え方だ。同じ形で同じ数ずつのまとまりをつくれればよいことや長方形を見付けられればよいことに気付かせ、まとめにつなげよう。

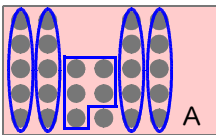
問題 はこの 中には、チョコレートが ぜんぶで 何こ ありますか。 けいさんで もとめましょう。



自分の考えをデジタル付箋に入力して送ってください。アドバイスがほしい人は、赤のデジタル付箋で送ってください。



ICT デジタル付箋の色を変えて送信させることで、自力解決の状況が把握しやすくなります。

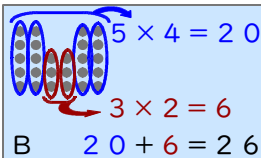


Aさんの付箋を見るとアドバイスがほしいようです。Aさんがどのように考えたか分かる人はいますか。

赤の付箋を見ると、図に示した考えを式に表せない人が多い。図を式に表す学び合いから始めよう。

5個ずつのまとまりをつかって考えたけど、1個だけ残ってしまったから困ったのだと思います。

5個ずつのまとまりが5個あるから $5 \times 5 = 25$ 、残りの1をたして、 $25 + 1 = 26$ ではどうですか。



$25 + 1$ もいいけど、私は、真ん中を3個ずつのまとまりに分けたら、真ん中は3の段で求めることができました。

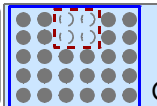
図の中から同じ形を見付けると、同じ数のまとまりだとすぐに分かるね。

Aさん

重要 図に書き込みながら説明させることで、図と式を関連付けることができるようにします。電子黒板上の必要な情報を板書に残すことで、まとめにつなげやすくなります。

ポイント1 自力解決の状況等に応じ、自力解決できずにいる児童生徒の考えについても取り上げ、その考えに沿って学び合うことが大切です。困ったときに助けを求めることができる児童生徒や、多様な考えに共感できる児童生徒を育てることがねらいの達成に向かう学び合いにつながります。

$5 \times 6 = 30$ 、 $2 \times 2 = 4$ 、 $30 - 4 = 26$ と考えた人がいます。どのように考えたか、図に表して説明できる人はいますか。



点線で囲んだところには丸はないけれど、丸があるものとして考えたのだと思います。

図には長方形が見えます。長方形に注目すると、同じ数のまとまりを見付けやすくなります。

ポイント2 例えば、BやCの図のように同じ数ずつのまとまりを捉えて図や式に表し、説明することができれば「おおむね満足できる」状況と評価するなど、評価問題の作成に当たっては、どのような学習状況であれば「おおむね満足できる」状況を具体的に想定しておくことが大切です。

